

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 98 (当初計画 : No. 92 )

東北森林管理局

取組名	地域との連携による高山植物や自然環境等の適切な保全管理 (継続)
流域名	雄物川流域 (湯沢)
分類番号	カ-32
実施箇所及び 実施日	雄勝郡東成瀬村仁郷山国有林ほか 平成 25 年 10 月 24 日ほか
取組の背景及 び必要性	栗駒山周辺地域を中心とした国有林内での山菜採り等の遭難 や、高山植物の盗採防止等が課題になることから、当署も参画 している「栗駒山系遭難対策協議会」による、遭難・盗採防止 等の啓蒙活動の活動強化を推進する必要がある。このため、地 元警察署、自治体関係者、NPO 等との連携による自然環境等 の適切な保全管理が必要となっている。
取組の内容	「栗駒山系遭難対策協議会」と連携し啓蒙看板の設置、チラシ 配布、遭難防止パトロール等を実施してきたところであり、特 に当支署では入林禁止ロープ、林野巡視を主体に実施。また、 クリーンアップについては、湯沢支署、自治体関係、NPO 等 も参加し 7 月・10 月に連携した保全管理を実施した。
国有林担当 部局・役割	湯沢支署 林野巡視、入山禁止ロープ・看板の設置、クリーンアップ等
連携協働相 手先・役割	地元市町村、警察署、NPO 法人等 林野巡視、看板の設置、クリーンアップ等
取組の結果、 反響、今後の 課題等	栗駒山周辺の保全管理に向けた国有林の先導的な取組は地域 からも高く評価されているところであり、今後とも一般市民を 巻き込んで取組を強化していく必要がある。
PR の実施状 況及びその期 待する効果	取組にあたっては、市町村広報誌、報道機関へのプレス等に より周知するとともに、ホームページで取組を紹介し、市民に 保全管理の大切さを PR していく。

【参考資料】

取 組 名	地域との連携による高山植物や自然環境等の適切な保全管理（継続）
-------	---------------------------------

○栗駒のクリーンアップ開会式



○須川高原でのクリーンアップ



## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 99 (当初計画 : No. 93 )

東北森林管理局

取組名	民・国有林を通じた林業労働災害防止対策充実強化への取組による林業事業体育成の推進 (継続)
流域名	雄物川流域 (湯沢)
分類番号	イ-14・エ-19
実施箇所及び実施日	林業安全大会の日 (平成 25 年 7 月 5 日開催) 林業安全管理講習会 (平成 25 年 11 月 16 日開催)
取組の背景及び必要性	過去の林業部門全体での重大災害発生の教訓を生かし、民・国を含めた林業従事者の労働災害の絶滅を期することを通じ、地域林業の担い手となる林業事業体の育成にも資することが喫緊の課題となっている。
取組の内容	7 月 5 日に、管内の林業従事者約 300 名が湯沢市に集まり、林業安全大会の日を開催した。当日は「林業における労働災害防止対策」「林業の労働災害防止について～他業種との相違点」の講演と「秋田県内における林業労働災害発生状況等」について横手労働基準監督署等から説明があり、災害の絶滅を誓った。11 月 16 日には、湯沢市の民有林内で「伐採技術等について」の林業安全管理講習会を開催し、災害の未然防止策について現場実習を通じて学んだ。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 林業安全大会の日開催の準備
連携協働相手先・役割	秋田県労働基準協会横手支部、横手労働基準監督署、横手・雄勝広域の各森林組合。
取組の結果、反響、今後の課題等	平成 15 年度の林業安全の日大会等の開催以降、災害件数の激減が図られている。職場と地域の林業関係者のゼロ災を目指し安全な作業手順を確実に実施することを確認した。
PR の実施状況及びその期待する効果	林業関係者が一同に会する「林業安全の日大会」の開催は他地域では見られない取組であり、安全意識向上等に対する評価は高い。

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 100 (当初計画 : No. 94 )

東北森林管理局

取組名	ナラ枯れの縮減に向けた現地検討会 (新規)
流域名	雄物川流域 (湯沢)
分類番号	オ-20、カ-32
実施箇所及び実施日	湯沢市東山森林公園ほか 平成25年9月25日ほか
取組の背景及び必要性	ナラ枯れによるコナラ・ミズナラの集団枯損が広がっており拡大を防止することが喫緊の課題となっている。、被害拡大防止を図るため早期発見、早期駆除に努め、関係機関等と連携して、林野巡視等の強化に努める必要がある。
取組の内容	平成20年度に湯沢・雄勝地域にナラ枯れが確認され、以降集団枯損が進行している状況にある。 被害拡大防止のため秋田県、市町村、森林組合等との連携強化を図り、早期発見のため林野巡視の強化、取組等の情報の共有化を図った。 9月25日、秋田県、市町村、林業事業者、湯沢支署等が参加し、現地検討会を開催し、ナラ枯れ被害地域での防除対策の取組みについて情報提供や意見交換を行った。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 検討会開催の企画案内。林野巡視の強化及び情報収集の構築。
連携協働相手先・役割	秋田県、市町村、森林組合等 被害木処理の指導、情報の共有
取組の結果、反響、今後の課題等	今年度発見された被害木については薬剤注入処理を行った。また、被害対策としては被害木を早期に発見し、国有林と民有林との連携強化を図り、被害拡大を阻止するための林野巡視等の強化や情報収集を行う。
PRの実施状況及びその期待する効果	各メディアがナラ枯れについて大きく取り上げ、市民の関心が高く情報提供も予想されることから、林野巡視等の強化に努め、被害木については迅速に処理していく必要がある。

【参考資料】

取 組 名	ナラ枯れの縮減に向けた現地検討会（新規）
-------	----------------------

○ナラ枯れ現地検討会での風景



○カシナガ捕獲シート設置箇所での調査風景



## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 101 (一)

東北森林管理局

取組名	民国が連携し森林共同施業団地の設定に向けた現地検討会の開催（新規）
流域名	雄物川流域（湯沢）
分類番号	ア-11、ウ-16
実施箇所及び実施日	湯沢市秋ノ宮字川井山国有林25林班ほか 平成25年7月26日、9月25日
取組の背景及び必要性	民国が連携し、路網整備や森林整備等を推進するため森林の施業を連携して一体的に行うこと等、より一層の効率化を求められていることから、施業の集約化等に向けた普及・啓発の取組を行う。
取組の内容	7月6日、湯沢市秋ノ宮の森林共同施業団地候補地において関係者が参加して、国有林・民有林の林分状況、路網の状況等について確認して現地で検討した。 9月25日、秋田県・管内市町村・林業事業体・湯沢支署等が参加し、現地検討会を開催し、森林共同施業団地の設定の取組みについて情報提供や意見交換を行った。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 検討会開催の企画案内、フィールドの提供等
連携協働相手先・役割	秋田県、森林組合、林業事業体、市町村等林業関係者 検討会開催のための資料提出等
取組の結果、反響、今後の課題等	民国が連携し、事業の効率化や低コストを推進するため、伐採箇所や路網整備を検討して森林共同施業団地設定に向けて取り組む。
PRの実施状況及びその期待する効果	現地検討会において、秋田県、管内市町村、林業事業体等に森林整備の効率化等をPRし低コスト化施業の普及・定着に努める。

【参考資料】

取組名	民国が連携し森林共同施業団地の設定に向けた現地検討会の開催(新規)
-----	-----------------------------------

○現地検討会での説明風景



○森林共同施業団地での検討風景

